

平成27年度「緑のカーテンコンテスト」結果

団体部門

【最優秀賞】 枚方信用金庫 枚方公園前支店

受賞理由：ゴーヤと朝顔を植え、店舗1階の窓全体を覆う鮮やかで涼しさの感じられる綺麗で立派なカーテンを作っている。
昨年収穫した種から苗を育て、安価なネットを繋ぎ、風が強いときは一時的に地面に落として、強風を凌ぐなど工夫が伺える。
また、収穫した実を近隣住民に配布している他、通行人の目も楽しませており、地域とのふれあいにも役立っている。



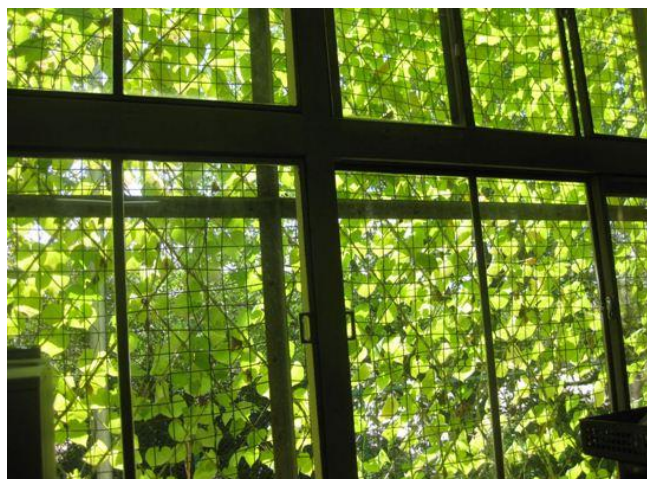
【優秀賞】

枚方市立蹉跎東小学校

受賞理由：ゴーヤ、朝顔、インゲン、風船かずらを植え、立派なカーテンを作っている。

校長室の窓を覆うように育ったカーテンは日光を遮り、隣接している職員室と比べると室温が約3度下がるなど暑気対策として効果をあげている。

また、水を枯らさないように、こまめな水やり、油粕を中心に追肥を行うなど熱意が感じられるカーテン作りとなっている。



【優秀賞】 枚方市立船橋小学校

受賞理由：ゴーヤ、アサガオ、ひょうたんを用い、1階の南面を覆う大きなカーテンを作っている。琉球朝顔の鮮やかな青紫色の花が涼しげで、まるで緑に囲まれているような立派なカーテンとなっており、実際の暑気対策としての効果も大きいと考えられる。
水道からホースを分岐させて水やりを工夫するなど、熱意の感じられる取り組みである。



個人部門

【最優秀賞】 後藤 久美子 様

受賞理由：ゴーヤ、きゅうり、パッションフルーツを用い、南側の居間から和室前にわたり、見た目も涼しく大きなカーテンに育っており、暑気対策の効果が非常に大きいことが伺える。



【優秀賞】 近都 貴志 様

受賞理由：2種類のゴーヤを用い、自宅東側の1階から3階の窓辺まで届く大きなカーテンを作っている。

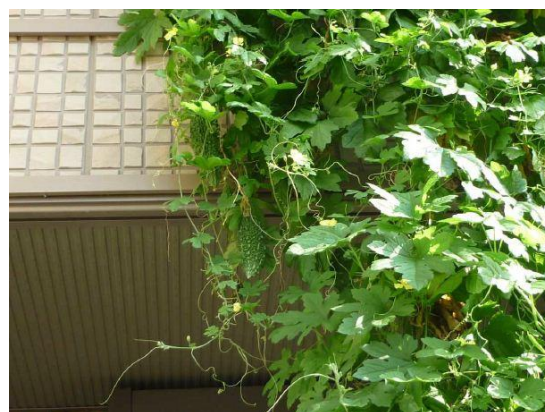
土の改良、親ヅルを切る、こまめに追肥をする、米のとぎ汁を使用するなど、様々な取り組みの工夫が伺える。毎夏、緑のカーテンに取り組んでおり、熱意も感じられる。



【優秀賞】 榎原 公子 様

受賞理由：ゴーヤを用い、2階のベランダまで届く綺麗なカーテンを作っている。

びっしり葉の生い茂ったカーテンは日中の日差しを遮り、風もよく通すので、暑気対策としての効果が大きいことが伺える。



参加者からの「緑のカーテン」による効果・感想（一部抜粋）

- 緑のカーテンが効果的だとは聞いてましたが、ここまでとは思いませんでした。来年は、カーテン幅をそれぞれ倍にして再挑戦したいです。
- 目にやさしくて目かくしにもなり、涼しくて、実を食べれる楽しみがある、グリーンカーテンは最高！
- 緑のカーテンモニターに参加して初めて白いゴーヤが1本混じっていました。緑のものに比べて少し苦みが少ないようです。炒めものには緑、おひたしには白と使いわけておいしくいただいています。育てるのも後始末も大変ですが夏の風物詩として続けたいと思います。
- 以前にも数回ゴーヤを植えた事があったのですが、今回はモニターということもあり特に愛情をこめて世話をしたような気がします。そのせいかどうかわかりませんが大きさも味も今までの中で一番の出来でとても嬉しい気持ちです。
- 日頃は”ぐーたら”を決め込んでいるがゴーヤ栽培をすることで、愛犬との散歩後の楽しみが増えた。女房との会話も若干多くなり、共通の話題となった。
- 初めの間は緑の葉がどんどん広がって、その間に小さな黄色のつぼみが膨らんで美しい景観に感動しました。